

平成 26 年度 第 2 回 化学教育 FD/ICT 活用研究委員会議事録

- I. 日時 平成 26 年 7 月 5 日 (土) 11:40~13:20
- II. 場所 私立大学情報教育協会 事務局 会議室
- III. 出席者 堀合委員長、及川副委員長(NET 参加)、小林副委員長、幅田委員、武岡委員
(事務局) 井端事務局長、森下

IV. 資料

- 資料① 化学教育におけるアクティブ・ラーニングの事例研究 開催要項案
- 資料② 学士力の実現を目指す ICT 活用授業の開発モデルの例示 (幅田委員)
- 資料③ 学士力の実現を目指す ICT 活用授業の開発モデルの例示 (堀合委員長)
- 参考① 私立大学情報教育協会機関誌「大学教育と情報」2014 年度 No.1, p.8,
“「学ぶ」から「できる」へ ~経営系科目のアクティブ・ラーニング~”, 西村宣彦
- 参考② 私立大学情報教育協会機関誌「大学教育と情報」2014 年度 No.1, p.2,
“アクティブ・ラーニングとはなにか”, 山地弘起

平成 26 年度化学教育 FD/ICT 活用研究委員会名簿

平成 26 年度 第 1 回 化学教育 FD/ICT 活用研究委員会議事録 (案)

V. 議事内容

- 1. アクティブ・ラーニングの事例研究 対話集会について、資料①の開催要項案に基づき、開催内容、話題提供の内容について検討した。
 - (1) 及川委員によるアクティブ・ラーニングの取り組みに関する話題提供の発表題目は、「ICTを用いた能動的な対面学修と事前・事後学修」に変更した。
 - (2) 話題提供の発表を予定していた木村委員が学会と重複し、9月27日(土)の対話集会に出席できなくなったため、資料②、③の内容を中心に他の委員による話題提供の発表を検討したが、アクティブ・ラーニングに特化した内容にすることが困難などの理由により、木村委員に「進度別個別学修を志向したファシリテータ活用のグループ学修と事前・事後学修」の仮題で、ビデオ映像参加による発表を依頼することとなった。
 - (3) 委員による話題提供発表は20分程度、事前公募による一般参加者の事例発表は10分程度を目安とするが、開催要項には明記しないことにした。
 - (4) 一般参加者による事例発表の公募は8月30日(土)で締切り、その後本委員会の電子メール会議で採否を決めることになった。また、参加申込み締切は9月20日(土)とし、開催要項に添付する申込書は事例発表の応募と参加申込みとに分けることにした。
 - (5) 会場に決まった東邦大学大森キャンパスのアクセスマップ、キャンパスマップの URL を開催要項に明記した。
 - (6) その他、資料①の開催要項案の誤植訂正や表記の修正・統一を行った。